

各 位

会 社 名 株式会社極楽湯ホールディングス
代表社名 代表取締役社長 CEO 新 川 隆 丈
(J A S D A Q コード : 2 3 4 0)
問合せ先 取締役執行役員 CFO 鈴木 正 守
電 話 0 3 - 5 2 7 5 - 4 1 2 6 (代)

**営業外収益、特別損失の計上及び法人税等調整額（損）の計上、
2021年3月期業績の前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績において、新型コロナウイルスの影響による営業利益の減少、営業外収益、特別損失の発生及び法人税等調整額（損）の計上に伴い、前期実績との間に差異が生じております。なお、当社は当該期間に係る業績予想を未定としたため、増減につきましては前期実績値との比較になっております。2021年3月期第4四半期連結会計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）におきまして、営業外収益、特別損失及び法人税等調整額（損）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

為替差益として173百万円を営業外収益に計上いたしました。これは主に人民元建て資産等の為替相場の変動により生じる評価替えによるものです。

2. 特別損失の内容

減損損失として848百万円を特別損失に計上いたしました。これは当社連結子会社である株式会社極楽湯の直営店における固定資産に対して、回収不能見込額を見積り計上したことによるものです。

貸倒引当金繰入額として78百万円を特別損失に計上いたしました。これは当社グループの中国フランチャイズ先につきまして、昨今の新型コロナウイルス感染拡大により、業績見通しが悪化し、債権の回収が困難となる可能性が生じたため、当該債権に対する貸倒引当金繰入額として見積り計上したことによるものです。

3. 法人税等調整額（損）の内容

繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2021年3月期に繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額（損）903百万円を計上したことによるものです。

4. 業績に与える影響

本件につきましては、本日公表しました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

5. 2021年3月期通期連結業績

(1) 前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 14,597	百万円 △348	百万円 △707	百万円 △3,264	円 銭 △196.67
当期実績値 (B)	10,547	△1,546	△926	△3,081	△179.55
増減額 (B-A)	△4,050	△1,197	△219	182	—
増減率 (%)	△27.8%	—	—	—	—

(2) 差異が生じた理由

売上高に関しては、新型コロナウイルスの影響により、日本及び中国の店舗において臨時休業や時短営業、飲食エリアの時短営業に加え、外出を控える動きが出たこと等により、前期比27.8%の減収となりました。

営業利益に関しては、コラボイベントの実施や地代や広告宣伝、人件費等のコスト削減にも努めましたが、売上高が大幅に減少したことが影響し、1,197百万円の減少となりました。また、経常利益に関しては、為替差益280百万円、助成金収入323百万円を営業外収益に計上しましたが、前期に比べ219百万円の減少となりました。

親会社株式に帰属する当期純利益に関しては、前期計上した減損損失が3,354百万円に対し、当期計上した減損損失が1,180百万円となりましたが、当期において法人税等調整額(損)989百万円を計上したため、前期に比べ182百万円の増加となりました。

以上